

産地とブランドの協業 契約前チェックリスト

価格・知的財産・量産・クレジット・契約終了までの17項目

協業の打診を受けた段階、あるいは打診をする段階で、目的・費用・権利・製造・発信・終了条件を確認するためのシートです。詳細な技法や図面を開示する前に、まずこの17項目で論点を整理してください。契約書の代わりにはなりませんので、個別の権利関係や条項については弁護士・弁理士など専門家にご確認ください。

案件名 _____ 相手方 _____ 記入日 _____

01 目的・体制

- ☐ 協業の目的と、成功を判断する指標が決まっているか
- ☐ 産地・工房・作家・ブランド・デザイナー・仲介者の契約上の立場が明確か

02 費用・試作

- ☐ 企画・試作・監修・量産・撮影・広報などの費用項目が分かれているか
- ☐ 試作費の負担者、修正回数、中止時の精算方法が決まっているか

03 知的財産

- ☐ 協業前から保有していた技法・図面・型・加工条件・名称が区別されているか
- ☐ 共同開発で生まれた形状・模様・改良技術・写真・映像・文章の扱いが明確か
- ☐ 権利を譲渡するのか、利用許諾とするのかが明記されているか
- ☐ 利用できる商品・地域・期間・媒体・改変・再許諾・独占性が決まっているか

04 量産・品質

- ☐ 最低発注量・納期・生産能力・原材料の継続性が確認されているか
- ☐ 手仕事による個体差・検品基準・不良品・修理・返品の扱いが合意されているか

05 価格・支払

- ☐ 販売価格・卸価格・ロイヤリティ・最低保証・支払時期が明確か

06 クレジット・発信

- ☐ 工房名・作家名・産地名をどこに、どの大きさで表示するか決まっているか
- ☐ 工房・作家が自社サイトやSNSで実績を公開できるか確認しているか

07 契約終了後

- ☐ 型・図面・データ・試作品・余剰材料を誰が所有・保管するか決まっているか
- ☐ 契約終了後の在庫販売・再製造・修理・広報素材の利用期限が明確か

08 海外契約・専門家確認

- ☐ 契約言語・準拠法・裁判管轄・通貨・税・輸送・保険が整理されているか（海外契約の場合）
- ☐ 弁護士・弁理士・税理士など、論点に応じた専門家へ確認できるか

使い方のヒント

すべての項目を産地側に有利にすれば良い協業になるわけではありません。ブランド側が負担する開発費・在庫・流通・広告・品質保証のリスクも踏まえ、「誰がどのリスクを引き受け、誰にどの権利・利益が残るか」を対応させて確認してください。